

## 1. 研究文献

帝国データバンク情報部『コロナ倒産の真相』日経BP社 2021年

## 2. 目次

はじめに p.3～

序章 コロナ関連倒産の特徴—企業信用調査マンが見つけた共通点—p.25

第1章 アパレル業界—大打撃なのに倒産は減少!?—p.41

事例1 アパレルの名門「レナウン」

事例2 ラグジュアリーアイテムのセレクトショップ運営「リデア」

事例3 20代女性に人気のレディースブランド運営「シティーヒル」

第2章 娯楽業界—「3密回避」でビジネスモデルの転換期に—p.75

事例4 アニメフィギュアの製造「アクアマリン」

事例5 アミューズメント施設の展開「エターナルアミューズメント」

事例6 USJのアトラクションの施工・保守「ライドエンジ」

第3章 観光業界—倒産は3つのパターンに分類できる—p.105

事例7 IT旅行商社「WBFグループ」

事例8 リゾートホテルの経営「ロイヤルオークリゾート」

事例9 北海道・川湯温泉で観光ホテルの運営「自然塾」

事例10 京都・着物レンタルの運営「京洛和蒼」

第4章 飲食業界—倒産件数が過去最多に—p.155

事例11 多様な飲食店を展開「虎杖東京」

事例12 江戸前寿司の運営「豊田」

事例13 リモートワークで減収「ブラジル料理店」

事例14 冷凍水産物の卸「ラハイナ」

事例15 小田原のかまぼこ御三家「丸う田代」

第5章 製造業—影響は比較的小さかったが…—p.187

事例16 自動車部品のプレス・溶接加工「イワキ」

事例17 漏電遮断器の製造「旭東電気」

事例18 ビニールレザーの製造「日本ビニル工業」

第6章 その他の業種 p.215

事例19 厨房設備・什器販売の卸「AIK ジャパンコーポレーション」

事例20 セキュリティーシステム機器の販売「AIプロジェクト」

事例21 接骨院チェーンの運営「MJG」

事例22 富裕層向け土地売買「リブアクション」

事例23 特許権連の契約書やマニュアルの翻訳「新日本翻訳センター」

おわりに p.258

### 3. 著者紹介

株式会社帝国データバンクは、企業を専門対象とする日本国内最大手の信用調査会社。

1900年3月3日に後藤武夫が帝国興信社として創業

1902年、法人化し商号を帝国興信所とした。

1981年、社名を現在の帝国データバンクに変更。それと同時に従来請け負ってきた結婚調査・雇用調査等の個人調査を廃し、業務を企業信用調査に特化。

情報部は、長年にわたり蓄積してきたデータベースとノウハウ、そして全国に広がるネットワークを活かし、質の高い情報を提供している。

資本金	9,000万円
従業員数	3,300名（調査取材部門として1,700名）
売上高	543億円（2021年9月期）

### 4. 選定理由

1. コロナウイルスの経済への影響に注目
2. コロナウイルスという誰しもが経験した事態であるため、ある意味で身近である
3. 具体的な事例に迫る
4. 各業界の豊富な事例
5. なぜ企業は倒産したのか
6. 倒産した企業に見られる共通点はなにか
7. 倒産の具体的な理由
8. どのような支援が必要か
9. 今後の展望は
10. 再びこのような事態が発生した時、変化への対応力を高めるためには